

# 高い技術の演技披露

日独の室内  
自転車競技選手

奈良養護学校で交流

ドイツと日本の室内自転車競技の選手が19日、奈良市七条町の県立奈良養護学校(下岡久志朗校長)を訪れ、中学部・高等部の生徒39人と交流した。

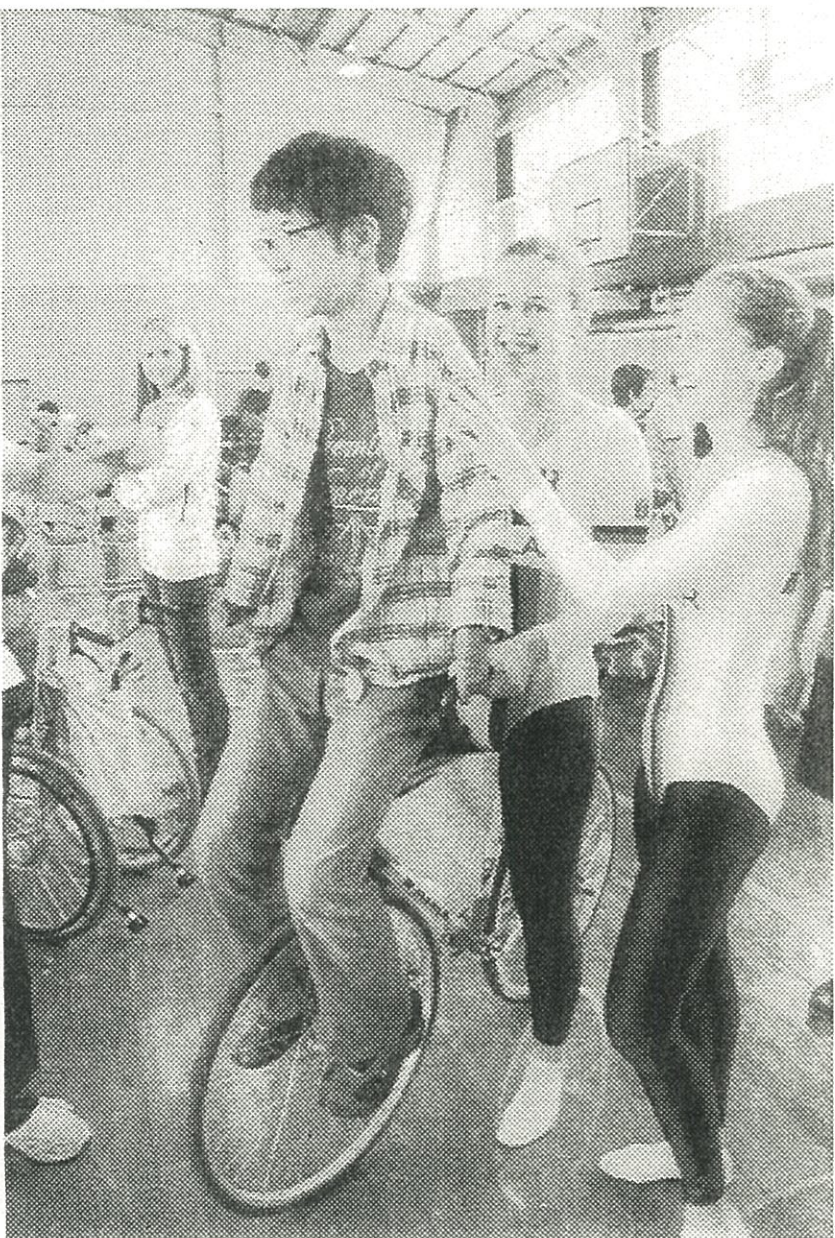
関西大学で開催の日独親善試合のために来日中のドイツ選手12人と、世界選手権日本代表選手2人が来校。迫

力あるサイクルサッカーと、自転車に乗ったまま倒立するなど難易度の高さと芸術性を競うサイクルフィギュアのデモンストレーションを行い、生徒たちが目を輝かせて見守った。

また、電動クルマいすサッカーの選手、奥田隼史君(高等部3年)

と相心平君(同2年)は、サイクルサッカーのドイツ選手と対戦した。

ドイツのサイクルフィギュア選手とともに自転車に乗った石原大君(同3年)は「初めて自転車に乗った。ちょっと恐かったけれど貴重な体験ができた」と話した。



ドイツ選手とともに自転車に乗る生徒 19日、奈良市七条町の奈良養護学校